

令和 6 年度 第 2 回 埼玉支部評議会 議事概要

開 催 日	令和 6 年 7 月 22 日 (月)	14:00 ~ 15:00
出席 評 議 員	秋葉評議員、桑原評議員、小泉評議員、甲原評議員、小林評議員、高場評議員、中川評議員、町田評議員 (五十音順)	
開 催 場 所	全国健康保険協会埼玉支部 大会議室 さいたま市大宮区錦町 682-2 大宮情報文化センター (JACK 大宮) 17 階	
議 題	1. 令和 5 年度協会けんぽ決算(見込み)について【協議事項】 2. 令和 6 年度埼玉支部事業計画実施状況について 3. その他報告事項について(マイナ保険証への円滑な移行に向けた対応について)	

議事概要 (主な意見等)	評議員からの意見、質問及びそれらに対する事務局からの回答は以下のとおり。 1. 令和 5 年度協会けんぽ決算(見込み)について【協議事項】 (学識経験者) 令和 5 年度末の準備金残高 5 兆 2,076 億円について、今回の資料では「協会けんぽの年間の財政規模約 11 兆円の半年分に満たない額である。(中略) 現在の準備金残高は必ずしも十分な水準とは言えない。」とされており、ここに現時点における協会けんぽとしての見解が集約されていると感じた。 (被保険者代表) 単年度収支について、遅くとも 5、6 年後には赤字になる見込みであったと思うが、その際は準備金により補填していくという理解でよろしいか。 また、その補填が続いた場合、平均保険料率の 10.0%について、何年後まで維持出来るのか。 仮に数年後に平均保険料率の引き上げがやむを得ない状況になったとしても、急激に引き上げるという対応ではなく、極力引き上げ幅が緩やかなものになるようにしていただきたい。 (事務局) ご認識のとおり、準備金による補填をしていくが、詳細については、10 月の評議会の際に資料としてお示しする収支見込みに関するシミュレーションをもとにご説明させていただきます。 (議長)(評議会の意見として) 令和 5 年度協会けんぽ決算(見込み)については了承とする。10 月の評議会において、来年度の保険料率について協議する際、平均保険料率 10.0%を何年後まで維持出来るのかなど、収支見込みに関するシミュレーションを拝見したうえで評議員の皆さまのご意見をいただきたい。
-----------------	---

2. 令和 6 年度埼玉支部事業計画実施状況について

(学識経験者)

現段階で KPI の達成が厳しい事業はあるのか。

(事務局)

毎年度、健診と保健指導の実施率にかかる KPI については、苦戦をしているが、今年度からスタートした第四期特定健康診査等実施計画に基づき KPI が見直しされたため、達成に向けて尽力していきます。

3. その他報告事項について(マイナ保険証への円滑な移行に向けた対応について)

(学識経験者)

資格情報のお知らせの送付について、事業所に届くと記載があるが、拠点がいくつもある事業所の場合においても、本社に届けるという認識で問題ないか。

(事務局)

ご認識のとおり。ただし、特別な事情により従業員に届けることが難しい場合は、個人宛の発送に切り替えるなど、臨機応変に対応していく予定です。

(学識経験者)

資格情報のお知らせの配付を事業所に一任となると、紛失などの事故が起こりうることが懸念されるため、事前の周知広報が重要ではないか。

(事務局)

7月の納入告知書に同封した「資格情報のお知らせの配付に関する案内リーフレット」のほか、各種広報媒体による周知広報を図るとともに、大規模事業所については、個別に訪問等による協力依頼をするなど、丁寧な対応を進めています。

特記事項

- ・ 次回は、令和 6 年 10 月開催予定